

II 普及指導等

1 水産業改良普及事業

漁業現場において漁業技術、漁獲物の付加価値向上、地域活動や漁業経営の改善等について直接漁業者団体や漁業者個人に指導を行うもの。特に、近年は海水温上昇等、海洋環境の変化に伴い、本県の沿岸漁業・養殖業の生産が不安定化しており、これらの課題に対応し、東日本大震災からの復興を成し遂げるためには、浜の現場に最も精通した水産業普及指導員が直接的に漁業者の活動を支援することが必須であることから、各水産漁港部普及指導員と連携し、効果的に普及事業を展開していく。また、試験研究部門と連携し、新たな試験研究成果の普及指導を実施し生産技術の向上を図るもの。

(1) 水産業普及指導員の配置

県内全域を担当する普及指導員を水産技術総合センター及び気仙沼水産試験場にそれぞれ 2 名ずつ、各地区を担当する普及指導員を気仙沼・東部・仙台の各地方振興事務所水産漁港部に計 10 名、普及事業予算関連業務や国等との連絡調整・担い手対策等を担当する普及指導員を水産業振興課に 1 名配置し、合計 15 名の水産業普及指導員を配置している。このうち、水産技術総合センター及び気仙沼水産試験場には、先進的な技術等に関する漁業者の相談窓口となり、普及指導員の総括・指導、普及指導部門と試験研究部門の連携を図る水産業革新支援専門員を各 1 名配置している。

なお、各地区担当普及指導員は、水産技術総合センター兼務発令としている。

(2) 活動実績等

①普及指導事業

活動内容（地区）		回数・日時	備考
養殖通報等の発行			
ノリ		36 回	水技セ
カキ（種がき）		12 回	水技セ
ワカメ		11 回	気水試
ホタテガイ		9 回	気水試
カキ天然採苗に係る浮遊幼生調査・情報提供			
志津川湾		10 回	気水試
長面浦		9 回	水技セ
技術指導			
アカガイ中間育成・放流	（渡波漁船、仙南）	8 回	水技セ
アサリ天然採苗	（松島、鳴瀬、七ヶ浜）	3 回	水技セ
ワカメ陸上採苗	（十三浜、網地島）	27 回	水技セ
マガキ天然採苗	（長面浦等）	9 回	水技セ
マボヤ天然採苗	（雄勝湾、谷川）	17 回	水技セ
ホタテガイ天然採苗	（十三浜、女川）	7 回	水技セ
ムラサキイガイ浮遊幼生調査	（鳴瀬）	4 回	水技セ
ダルス人工採苗・養殖	（女川、寒風沢）	33 回	水技セ
アカモク人工採苗・養殖	（鳴瀬）	2 回	水技セ
アラメ人工採苗・育成	（石巻市東部、石巻地区、網地島、宮戸）	7 回	水技セ
ノリ養殖	（雄勝湾、宮戸西部）	9 回	水技セ
マボヤ浮遊幼生調査・人工採苗	（唐桑、志津川）	7 回	気水試
マガキ天然採苗	（大島、志津川、戸倉）	15 回	気水試
アラメ人工採苗	（大島、歌津、戸倉）	6 回	気水試
ナマコ中間育成・放流	（歌津）	20 回	気水試
トリガイ中間育成・放流	（唐桑）	3 回	気水試
イワガキ天然採苗・養殖	（志津川、戸倉）	3 回	気水試

①普及指導事業（つづき）

活動内容（地区）	回数・日時	備考
水産関係調査報告会		
試験研究成果発表会	R6.9.18	水技セ
浜と水試の情報交換会	R6.9.6	気水試

②普及指導員研修等

年月日	活動内容	主催
R6.8.23	第1回水産業普及指導員スキルアップ研修	水技セ
R6.10.30-31	令和6年度水産業普及指導員研修会（第1回）（福井県）	水産庁
R7.3.13	令和6年度水産業普及指導員研修会（第2回）（東京都（Web））	水産庁

2 中核的漁業者活動支援事業

本県水産業の本格的な復興を成し遂げるためには各浜の中核となる担い手自らが、地域の牽引役として、新たな技術や考えを取り入れ、生産活動に取り組む必要がある。このため、水産業普及指導員が、先進的な取組に関する技術協力や情報提供等により、担い手団体や各浜の中核となる担い手の活動を総合的に支援し、次世代を担う漁業者の育成を推進する。

（1）活動実績等

①担い手団体の活動支援

区分	会議等の名称	回数等	備考
宮城県漁業協同組合関係 青年部	県漁協青年部		水技セ・気水試
	役員会	2名×4回	
	総会	2名×1回	
	水産青年フォーラム	4名×1回	
	石巻総合支所支部		
	総会	1名×1回	水技セ
	北上町十三浜支所青年研究会		
	総会	1名×1回	水技セ
	塩釜総合支所支部		
	総会	1名×1回	水技セ
	鳴瀬支所青年部		
	役員会	1名×1回	水技セ
	気仙沼総合支所支部		
	役員会	1名×2回	気水試
	総会	3名×1回	気水試
	歌津支所青年部	3名×1回	気水試
	総会		
	戸倉青年研究会	2名×1回	気水試
	総会		
女性部	県漁協女性部連絡協議会		水技セ・気水試
	総会	2名×1回	
	中部地区漁協女性部連絡協議会		水技セ
	巡回懇談会	1名×1回	
	北部地区漁協女性部連絡協議会		気水試
	総会	1名×1回	
	巡回懇談会	2名×1回	
	料理教室	2名×1回	
	歌津支所女性部		気水試
	役員会	1名×2回	
	加工研修（アイゴ）	2名×1回	
	料理教室	1名×1回	

①担い手団体の活動支援（つづき）

区分	会議等の名称	回数等	備考
宮城県漁業協同組合関係			
青年部・女性部	宮城県青年・女性漁業者交流大会	2名×1回	水技セ・気水試
宮城県漁業士会関係			
	県漁業士会		水技セ・気水試
	役員会	2名×3回	
	総会	2名×1回	
	東北・北海道ブロック漁業士研修会	3名×1回	
	中部支部		水技セ
	総会	1名×1回	
	地区懇談会	1名×1回	
	南部支部		
	総会	1名×1回	水技セ
	北部支部		
	役員会	1名×3回	気水試
	総会	3名×1回	気水試
	岩手県漁業士会大船渡支部との交流会	—	

②漁業に関する各種研修会等

年月日	会議等の名称	場所	内容	受講者数
R6.9.3 R6.9.11	青年漁業士養成講座	水産技術総合センター	・宮城県水産技術総合センターの普及活動について ・漁業経営の現状と問題点について	4

3 漁業担い手確保育成支援事業

本県の沿岸漁業就業者数は、高齢化や後継者不足、震災の影響により、震災前の半数近くに減少しており、本県水産業の持続的な発展のためには、その担い手となる後継者の育成、新規就業者の確保・定着を図ることが重要である。そこで、県主催の「みやぎ漁師カレッジ」において、参加した新規就業希望者や就業から間もない若手漁業者に対し、宮城の漁業に関する講義を行ったほか、小学校等の総合学習において、漁業・水産業への理解促進のための講義を行った。

（1）活動実績等

①みやぎ漁師カレッジ

年月日	講座名	場所	内容	受講者数
R6.7.2	みやぎ漁師カレッジ 長期研修	石巻合同庁舎	座学：カキ、ホタテ、ホヤ、ノリ ワカメ、ギンザケ養殖業について	12
R6.11.6	みやぎ漁師カレッジ 長期研修	水産技術総合センター	座学：漁場環境の基礎知識 水産技術総合センター施設見学	6

②小学校等の総合学習への対応

次世代を担う人材育成の一つとして、気仙沼市内の幼稚園、小・中学校、高等学校が実施する海に関する総合学習において、普及指導員等が講師を務め、漁業・水産業への興味や理解の促進に努めた。

③みやぎ出前講座

年月日	対象者	場所	内容	受講者数
R6.5.23	気仙沼市立面瀬小学校	岩井崎	磯の生き物観察	51
R6.5.23	宮城県気仙沼高等学校	気仙沼高等学校	海洋環境変化と水産業	230
R6.5.24	気仙沼市立階上小学校	岩井崎	磯の生き物観察、海洋ごみについて	28
R6.6.13	気仙沼市立大谷中学校	大谷中学校	気仙沼周辺海域の地球温暖化による海洋環境の変化について	66
R6.6.21	気仙沼市立唐桑幼稚園	唐桑幼稚園	磯の生き物観察	20
R6.6.25	気仙沼市立九条小学校	九条小学校	気仙沼周辺海域の地球温暖化による海洋環境の変化について	43
R6.10.10	宮城県気仙沼高等学校	気仙沼水産試験場	地域社会研究市内フィールドワーク	4
R6.12.12	気仙沼市立唐桑小学校	唐桑小学校	総合学習(カキを学ぶ) カキの解剖	33
R7.3.19	県漁協女川町支所運営委員会・養殖部会	女川魚市場	宮城の養殖業について	30